

# 平成27年度 燕市西蒲原郡特別活動部 活動報告

部長 古谷 一成

## 1 研究テーマ

お互いを認め合える学級づくり ～考えを伝え合う話し合い活動を通して～

## 2 研究の概要

### (1) 第1回研究部会

- ① 実施期日・会場 6月 3日(水) 燕市立吉田北小学校  
② 内容 講演および模擬授業〔講師〕新潟市立新通小学校教諭 阿部 勉 様

### (2) 第2回研究部会

- ① 実施期日・会場 12月 2日(水) 燕市立小中川小学校  
② 内容 公開授業と協議会〔指導者〕新潟市立根岸小学校長 小林 靖直 様  
〔授業者〕燕市立小中川小学校講師 小日向真湖

## 3 研究の実際

### (1) 第1回研究部会

#### ① 講演：学級活動における取組の紹介

学級活動の目的は、子ども同士の間人関係を向上させることであり、学級内で多様な共通体験をすることや、相互にわかり合い、納得することが基本となる。みんなで学級をつくっていくという思いを持たせるため、学級内では子どもの意見をもとにルールを決めたり、学級内での話し合いはその場で短時間に解決させたりするよう努めている。

#### ② 模擬授業：学級会

司会を育てるために、輪番で司会団(司会・副司会・黒板書記)を決め、事前に仕事内容や時間の流れなどを指導しておく。子どもたち全員を話し合いの舞台に乗せるために、「学級会カード」を活用し事前に自分の考えを書かせ、教師のコメントを書く。一覧表にして、話し合う前に一人一人に意見を持たせるなどしている

### (2) 第2回研究部会

#### ① 公開授業：「めざせ！みんなの記憶に残る6年生」

卒業を前にした6年生の子どもたちが、下学年に感謝されるような6年生になるため、自分自身を見つめ直し、よりよい行動につなげようというねらいで授業が展開された。

まず子どもたちは、映像で自分たちが歌う姿を見て感じたことを付箋に書き、グループで意見交換をした。お互いにアドバイスをし合い、一人一人がよりよい姿を目指そうと自覚できるようにした。最後に、みんなで歌うことの意味について考え、歌うことを通じてさらに学級の所属意識や一体感を高めるための「行動宣言」をまとめていった。

#### ② 協議会：グループ討議での主な意見

- ・子どもたちが付箋を使ったグループ討議に慣れており、スムーズに意見交換していた。
- ・子どもが自分の姿を自覚するために、映像は有効である。映像を見せる前に目指すゴールや担任の思いを伝えると、より視点が明確になるのではないかと。

## 4 成果と課題(○成果 ●課題)

○講演、模擬授業、授業研究を通し、「全員が参加する学級づくり」のための、具体的な手立てを知ることができた。

○授業研究では、「お互いを認め合える学級づくり」のためには、児童の実態を踏まえた「教師の熱い思い」が重要であることを再認識することができた。

●特別活動の目標をしっかりと理解し、どの目標に向かう活動なのかを明確にする必要がある。